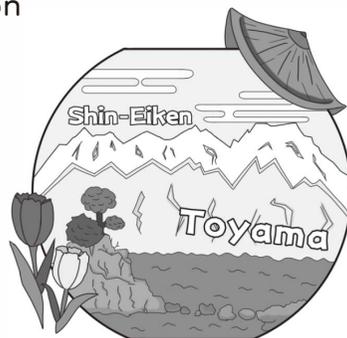


すべての子どもたちに外国語を学ぶ喜びと平和な未来をひらく力を

New English Teachers' Association

新英語教育研究会 2023 第59回 全国大会 富山大会



主催：新英語教育研究会
支援：富山県教育委員会，富山市教育委員会，
読売新聞北陸支社，北日本新聞社
とき：2023年8月5日（土）～8月6日（日）
開催方法：Zoomによるオンライン

第1日 8月5日（土）

▶ 開会行事 13:00～13:25

▶ 記念講演 13:30～15:00

講師：今井 むつみ 氏



A | 時代の英語教育

—なぜ英語を学ぶ必要があるのか，何を学ぶべきなのか

慶應義塾大学環境情報学部教授。Ph. D. (ノースウェスタン大学，1994年)。専門分野は認知科学，特に認知心理学，発達心理学，言語心理学。著書『算数文章題が解けない子どもたち—ことば，思考の力と学力不振』(岩波書店)など多数。国際認知科学会名誉会員(アジア初)。『学びとは何か—探究人になるために』(岩波新書)などが小学校や高校の複数の国語教科書に掲載される。現在，学力不振で苦しむ子どもたちの学力困難の原因を見える化するための「ことばのたつじん」「かず，かんがえるたつじん」(小学生版，中学生版)の開発に従事。

北から南の仲間とともに，

信の英語教育を，

世代を越えて，語り合おう！！

～高志の国へようこそ～

▶ 校種別分科会／特設分科会 15:20～16:40 校種による課題に取り組む授業実践から学ぼう！

- | | | |
|---------------|---------------|--------------------------------|
| I 小学校 | 大田 貴之 (福岡・小) | 子どもをつなぐ外国語科学習～Small Talkと学級づくり |
| II 中学校1年 | 福島 悦子 (埼玉・中) | 誰もが安心して学べる授業づくりをめざして |
| III 中学校2・3年① | 安野 寿美 (東京・中) | retelling vs 心を動かす教材 |
| IV 中学校2・3年② | 大越 範子 (東京・中) | 「〇〇を紹介しよう」は相手があって評価できるもの |
| V 高校(易しい教科書) | 小原 百合子 (静岡・高) | 読解とスピーチにひと工夫～ちゃんと読む・話す～ |
| VI 高校(難しい教科書) | 斎藤 典子 (宮城・高) | 高校英語の創造的な扱いと大学入試 |
| VII 高専・大学 | 吉住 香織 (埼玉・大) | 協同から自律へ：ソフト CLIL で学ぶ地球的課題 |
| VIII 特設 ICT | 田中 路美子 (福岡・高) | “I'm old fashioned.”～ICT奮闘記～ |

▶ 若手教職員・教職希望者のひろば／ブロック別交流会 18:00～19:30

申込み：2023年5月1日(月)～8月2日(水) 23:59 締切(8月2日締切後の申込みはお受けできませんのでご了承ください)
・参加申込みは右のコードを読み込み，Peatixアプリの「第59回新英語教育研究会全国大会(富山大会)」で参加チケットを購入してください。購入された方には8月3日(木)にZoom参加の情報をお送りします。下のURLからも申込みできます。
・申込み問合せ先：shineiken2023@gmail.com <https://shineiken-zenkokutaikai.peatix.com>
・なお，Peatixを初めてご使用になる方は，新規登録が必要です。



ご挨拶

1人で思い、2人で考え、3人で語り合う
—そして、みんなで乗り越える！

大会実行委員長（海木 幸登）

第52回の北信越（新潟）大会から8年の月日が流れ、その間に私たちを取り巻く状況は大きく変わりました。いま必要なのは「すべての子どもたちに外国語を学ぶ喜びを！」「すべての英語教師に外国語を教える楽しさを！」と叫ぶこと。そして役に立つ実践や教材を、夢と希望とともに教室へ持ち帰ることだと思います。ぜひ富山大会にご参加ください！

子どもを中心とする現場の視点を忘れない
新英語教育研究会会長（池田 真澄）

新英語教育研究会が創立して64年です。現在私たちは小学校英語・学習指導要領の諸課題・ICTの進化など大きな変化に直面しています。しかし変わらないのは主人公が子どもたちであり、私たちの研究が現場を出発点にするという点です。この視点を大切に全国大会での研究を進めましょう。

第2日 8月6日（日）▶シンポジウム 9:30～10:50

テーマ：むずかしい教科書をやさしく、やさしい教材をふかく、ふかい授業をゆかいに！
～困難を乗り越えるヒントを求めて～

司会：柏村 みね子（新英研事務局）

現場からの発信！小中高専の実践者によるシンポジウム



小学校
北野 ゆき
（大阪・小）

ホテル勤務、専業主婦、大阪府小学校・義務教育学校（2回の学校統合を含む）計4校を経て、現在守口市立小学校勤務。小学校での外国語活動開始から、現在の教科化に至るまでを経験。教科書からの発展的な実践、外国語教育としてこぼへるの気づきを大切にしてきた。



中学校
羽野 祐司
（大分・中）

私立高校2年、公立中学校36年勤務を経て今春退職、再任用として初任者研修拠点校指導教員。学級担任として子どもたちと心通う授業をめざし力を注いできた。現場は二極化、小学校既習語の扱い（700語問題）、内容が高度化し学習に引き込むのが難しい等の問題がある。



高校
市川 裕理
（愛知・高専）

愛知県立高校2校勤務を経て、現在豊田工業高専准教授。協働学習、SDGsの視点のある授業に取り組み、協働で文脈に応じ表現を考えることがコミュニケーションに効果的と考え、研究している。日頃はCLIL方式でトピックと同時に英語表現も学ぶスタイルを採っている。

▶新英研分科会 ①11:10～12:30 ②13:30～14:50

研究・実践の興味・関心に沿った
授業づくりを学び合う場です！

1 小学校・中学入門期	①朝倉 慶子（奈良・小） ②大西 恵美子（三重・小）	「奈良の学習法」で奈良のしかについて学ぶ外国語学習 小学校英語の30年～総合から教科化ICT活用まで～
2 教科書・（自主）教材と読み取り	①藤本 文香（東京・中） ②斉藤 貴子（埼玉・高）	心を動かす授業づくり～折句の詩・100人村ワークショップ～ 苦手な読解指導：改造プロジェクト中間報告
3 文法・語彙の指導	①菅野 真至（宮城・高） ②尾張 至伸（青森・中）	記号付けによる読解とコミュニケーション 生徒の表現・読解を支える語彙・文法指導とは？
4 自己表現・音声によるコミュニケーション	①新井 雄大（埼玉・中高） ②三田 詩織（大阪・高）	「英語を学ぶ理由」を求めて 中学1年生劇発表の実践 自分の言葉で伝えること、聴くこと
5 学力と評価	①清水 弥生/武田 千絵（山口・高） ②大口 雅也（北海道・中）	教科書の内容を元につなぐ遠隔地との交流事始め 機械じゃない！一人じゃない！仲間と一緒に英語音読劇
6 仲間と学ぶ協同学習	①本田 孝子（石川・中） ②玉木 志乃（埼玉・中高）	学校だからこそできる学びを～つながりを目指して～ 協同で読みを深める授業を目指して～和訳の一步先へ～
7 遅れがちな子どもとともに	①菊池 敦子（東京・中） ②小川 弘義（新潟・高）	みんなで自分の思いをスピーチに～苦手な生徒にも寄り添いながら～ 非進学校の専門性とは～流暢さ・運用力で勝負しない～
8 平和・環境・人権・SDGs（の教育）に取り組む	①吉村 千恵（福岡・中） ②赤荻 さやか（栃木・中）	英語で平和学習 「知る・学ぶ」から「伝える」へ 「サダコプロジェクト 平和の折り鶴」～知って考え、発信する～

▶閉会行事 15:10～15:30

▶新英研総会 15:45～16:45